



# 2018年2月期第1四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2017年7月20日



## 1. 第1四半期連結決算概要

連結損益計算書概要	-----	4
連結貸借対照表概要	-----	5
セグメント別業績概況	-----	6
飲食事業の業態分析	-----	7

## 2. 第1四半期トピックス

既存店居酒屋業態は堅調	-----	9
3期振りに第1四半期で黒字化を達成	-----	10
新業態の着実な成長	-----	11
戦略的なSCからの撤退	-----	13
第1四半期の新規出店・リニューアル	-----	14
店舗数の推移	-----	15
既存店収益状況	-----	16

## 3. 今後の取り組み

名古屋100店舗計画への土台作り	-----	18
今後の新規出店予定	-----	20
今期の業績見通し	-----	21



# 1. 第1四半期 連結決算概要



# 連結損益計算書概要



	2017年2月期 第1四半期		2018年2月期 第1四半期		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	3,463	100.0	<b>3,734</b> ①	<b>100.0</b>	107.8
売上原価	1,077	31.1	<b>1,155</b> ②	<b>30.9</b>	107.2
売上総利益	2,386	68.9	<b>2,578</b>	<b>69.1</b>	108.1
販売管理費	2,419	69.8	<b>2,569</b>	<b>68.8</b>	106.2
営業利益 または営業損失	△33	—	<b>9</b> ③	<b>0.2</b>	—
営業外収益	27	0.8	<b>35</b>	<b>1.0</b>	130.0
営業外費用	39	1.1	<b>36</b>	<b>1.0</b>	92.7
経常利益 または経常損失	△44	—	<b>8</b>	<b>0.2</b>	—
特別利益	1	0.1	—	—	—
特別損失	14	0.4	<b>0</b>	<b>0.0</b>	0.2
税金等調整前四半期純利益 または純損失	△56	—	<b>8</b>	<b>0.2</b>	—
当期純利益 または純損失	△44	—	<b>0</b>	<b>0.0</b>	—

① 居酒屋業態の既存店が堅調に推移し、売上高は前年同期比 107.8% となり、過去最高の売上高を達成。

② 飲食事業単独での原価率は 27.8% となり、前年同期比 0.7 ポイント 増加したが、コストコントロールにより想定通りで推移。

③ 好調な売上高に加えて、原価や人件費を適切にコントロールしたことで、3 期ぶりの黒字化を達成。



# 連結貸借対照表概要



(百万円)	2017年2月期 期末	2018年2月期 第1四半期末	(百万円)	2017年2月期 期末	2018年2月期 第1四半期末
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,500	1,176	流動負債	2,960	2,879
現金及び預金	749	298	買掛金	498	369
売掛金	322	408	短期借入金 ※	1,135	1,209
原材料及び貯蔵品	118	118	その他	1,326	1,300
その他	309	351	固定負債	4,015	4,032
固定資産	7,140	7,395	長期借入金	3,386	3,362
有形固定資産	5,594	5,813	その他	628	670
建物及び構築物	3,379	3,390	負債合計	6,976	6,911
土地	1,623	1,761	<b>純資産の部</b>		
その他	591	662	株主資本	1,705	1,693
無形固定資産	27	23	資本金	1,068	1,068
投資その他の資産	1,519	1,557	資本剰余金	998	998
繰延資産	1	3	利益剰余金	△286	△298
資産合計	8,642	8,575	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△42	△33
			新株予約権	3	3
			純資産合計	1,666	1,663
			負債純資産合計	8,642	8,575

※一年内返済予定長期借入金含む

# セグメント別業績概況



(百万円)

		2017年2月期 第1四半期実績	2018年2月期 第1四半期実績	前年同期比 (%)	ポイント
<b>飲食事業</b> 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	3,096	<b>3,409</b>	110.1	得意分野である居酒屋業態の既存店が堅調に推移し、売上高・営業利益ともに増加。
	営業利益	96	<b>159</b>	165.9	
<b>不動産事業</b> 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	463	<b>499</b>	107.9	前期5月オープンの「jG金山」が期初より稼働したことで売上高が増加。
	営業利益	44	<b>41</b>	92.1	
<b>ブライダル事業</b> 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	209	<b>187</b>	89.4	リニューアルから時間が経過した「La Eternita」で婚礼数が減少したが、企業パーティなどを取り込み黒字を確保。
	営業利益	13	<b>3</b>	25.4	
<b>その他の事業</b> 広告代理業、卸売業等	売上高	229	<b>226</b>	98.9	飲食事業の堅調な売上高に伴い広告代理業、卸売業についても引き続き堅調に推移。
	営業利益	7	<b>18</b>	226.4	
<b>調整額</b>	売上高	△534	△ <b>588</b>	—	
	営業利益	△195	△ <b>213</b>	—	
<b>連結財務諸表 計上額</b>	売上高	3,463	<b>3,734</b>	107.8	
	営業利益	△33	<b>9</b>	—	

(百万円)

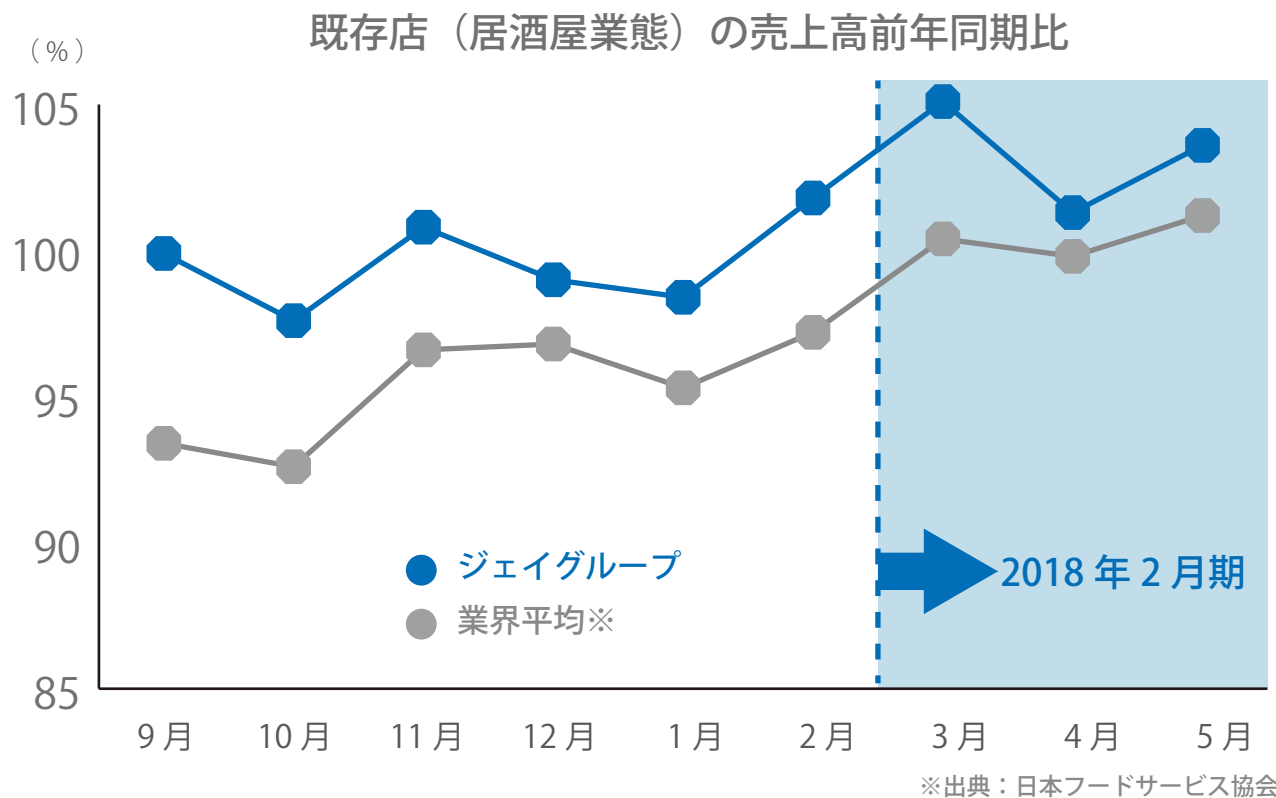
		2017年2月期 第1四半期実績	2018年2月期 第1四半期実績
居酒屋業態	売上高	2,402	<b>2,660</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	287	<b>327</b>
レストラン業態	売上高	437	<b>441</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	34	<b>16</b>
カフェ業態	売上高	215	<b>198</b>
	営業利益 (本部経費配賦前)	5	<b>△2</b>



## 2. 第1四半期 トピックス

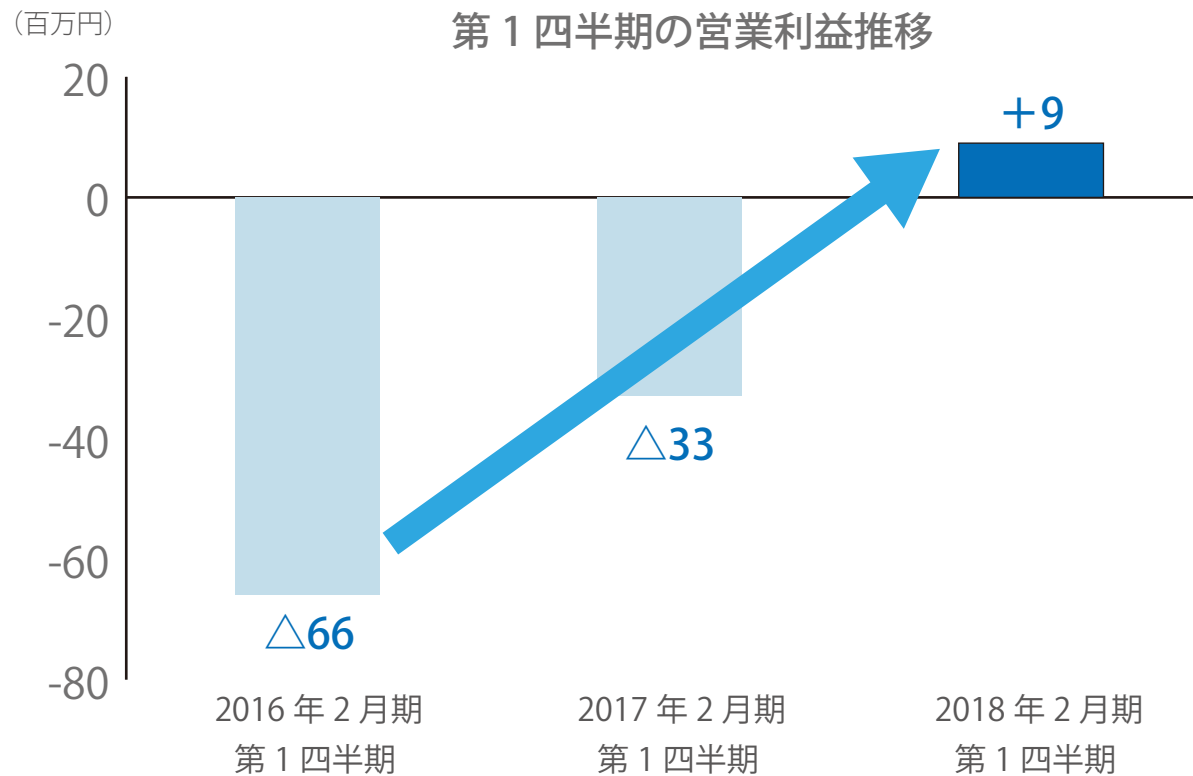






- 原価、人件費高騰が続く中で、料理・サービスの質を維持・向上したことで芋蔵を始めとする既存店居酒屋業態が、前期より引き続き堅調に推移。
- 組織編成を期末の2月末から、8月末に変更し、期初から店舗運営が安定したことも増収の要因となり、過去最高の売上高を達成。

# 3期振りに第1四半期で黒字化を達成



- ・「一人当たり粗利アップ」、「原価低減の取り組み」、「1・1・2管理による人件費適正化」などの施策を、顧客満足度を低下させずに進めたことで営業利益を大幅に改善し3期振りに黒字化を達成。

## 飲食業界の新業態は浸透に時間がかかる構造に変化してきている



かつてはプロモーションによりオープン直後に集客を最大化することができていた。



実際に店舗へ行った人の口コミや写真を参考に来店する傾向が高まり、口コミ等が揃うまで新業態の浸透に時間がかかる。

- 1 口コミが揃うまでの1年程度は着実に店舗運営ができるしっかりした業態と体制構築が必要。
- 2 ジェイグループの得意分野である作り込まれた長く愛される業態が活躍できる。

### 前期新業態の1年経過後の売上高前年同月比

	オープン日	1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
PIT TAVERN 名駅店	2016年3月1日	113.2%	121.3%	101.2%
PIT TAVERN 栄店	2016年3月1日	110.0%	129.0%	133.4%
献	2016年4月22日	99.6%	113.6%	
吟醸マグロ	2016年5月26日	203.7%		
串星	2016年5月26日	147.0%		

- 前期オープンの新業態は口コミが揃いだす1年経過後は着実に売上高を伸ばし成長している。
- 業態の柱となることを期待し「吟醸マグロ」は更に業態の完成度を高め、8月に栄に2階建ての路面店を旗艦店舗として出店予定。

## SC（ショッピングセンター）撤退理由

- 1** 大型の SC において集客力が徐々に低下しており、ランチ営業を前提とした人件費とのバランスが取れず収益力が低下してきている。
- 2** 名古屋 100 店舗計画へ向けて、最も重要な経営資源である人材を、撤退した SC 店舗から名古屋店舗へ再配置するため。

### 赤字店舗は今期中に早期撤退を実施

第 2 四半期以降に「SARU CAFE ラシック店」「Mart」  
「88 huituit ららぽーと TOKYO BAY」「大地の恵み」の 4 店舗を閉店し、  
赤字店舗を一掃する予定。



# 第1四半期の新規出店・リニューアル



3月



3月7日オープン

きじょうもん（新業態・リニューアル）  
名古屋市中村区

3月



3月16日オープン

きばくもん（新業態）  
名古屋市中区

4月

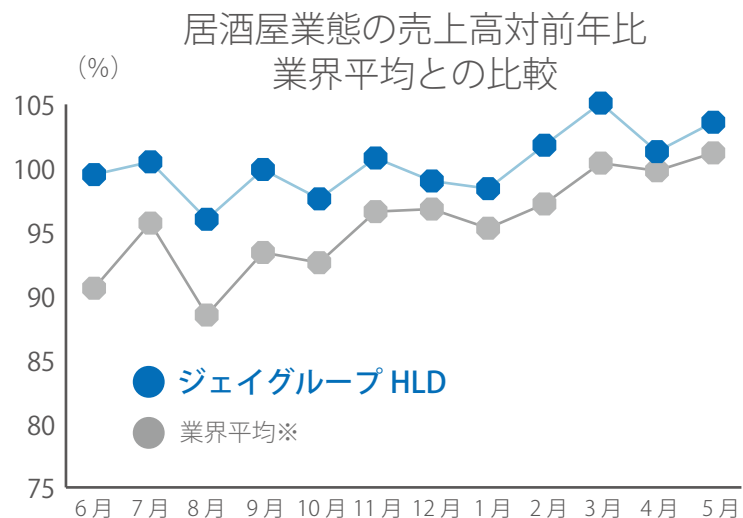


4月21日オープン

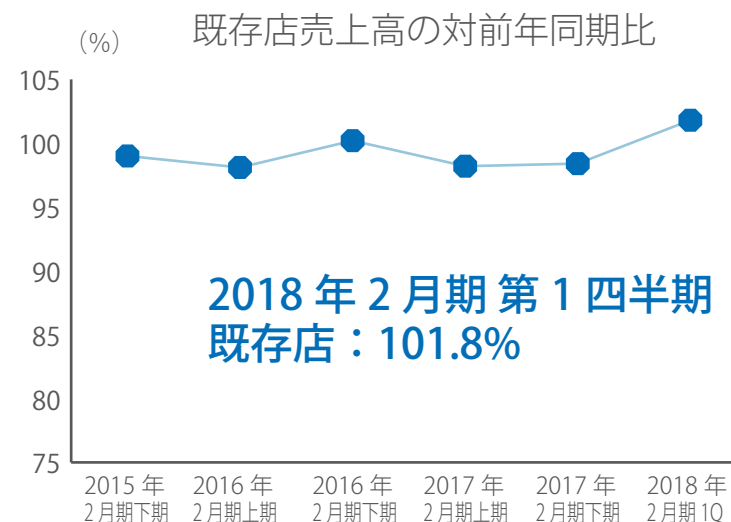
名古屋丸八食堂 豊田店  
愛知県豊田市



# 既存店収益状況



※出典：日本フードサービス協会



		2016年						2017年		2017年2月期 実績	2017年			2018年2月期 第1四半期 実績	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月
居酒屋業態	売上高前年同月比	99.5%	100.5%	96.0%	99.9%	97.6%	100.8%	99.0%	98.4%	101.8%	99.0%	105.1%	101.3%	103.6%	103.4%
	来店客数前年同月比	98.5%	99.6%	95.9%	100.4%	97.1%	100.2%	99.0%	97.4%	100.3%	97.7%	104.7%	100.4%	102.2%	102.5%
	客単価前年同月比	101.0%	100.9%	100.1%	99.6%	100.5%	100.6%	100.0%	101.0%	101.5%	101.2%	100.4%	100.9%	101.4%	100.9%
レストラン業態	売上高前年同月比	104.0%	104.7%	92.5%	93.4%	100.9%	92.6%	98.0%	99.1%	89.8%	98.3%	94.7%	100.8%	91.3%	95.2%
	来店客数前年同月比	108.6%	109.4%	98.5%	98.3%	101.0%	95.8%	102.8%	97.8%	90.3%	100.8%	98.8%	101.3%	92.0%	96.8%
	客単価前年同月比	95.8%	95.7%	93.9%	95.0%	99.9%	96.6%	95.3%	101.4%	99.4%	97.6%	95.9%	99.5%	99.3%	98.3%
カフェ業態	売上高前年同月比	90.6%	90.4%	88.8%	86.6%	92.0%	88.5%	94.3%	91.5%	87.3%	90.1%	93.7%	92.9%	86.9%	91.2%
	来店客数前年同月比	89.7%	93.2%	90.0%	86.5%	89.3%	87.2%	91.4%	89.9%	85.6%	89.1%	90.5%	90.9%	85.1%	88.8%
	客単価前年同月比	101.0%	97.0%	98.6%	100.1%	103.0%	101.5%	103.2%	101.8%	102.0%	101.1%	103.5%	102.3%	102.2%	102.7%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。



### 3. 今後の取り組み



## 名古屋 100 店舗計画を進めるため、芋蔵を中心とする既存居酒屋業態の客単価 4,000 円台から価格帯ラインナップを拡大する新業態を出店

### 新業態：SARUBARUSA（価格帯 3,000 円台）



カフェ業態のテコ入れ策も兼ねた、カフェとバルを融合した客単価 3,000 円台の新業態「SARUBARUSA」を第 2 四半期に出店。

### 新業態：おざぶ（価格帯 5,000 円台）



日本酒を前面にアピールし、増加する訪日観光客もターゲットにした高価格帯の新業態「おざぶ」を第 2 四半期に出店。



## 今後のさらなる出店ならびに想定される人手不足へ向けて 人材確保のための施策を継続的に実施

### これまでの施策

#### 1 正社員の働き方改革

休日選択制やエリア限定社員などの制度を設計開始

#### 2 アルバイトスタッフの満足度向上

懇親会等を実施し金銭面ではない待遇で満足度を向上

#### 3 サテライト創設で野球部人員を拡充

優秀な社員を獲得できる野球部枠を拡充

#### 4 優秀な人材が集まる業態を開発

「Boca プロジェクト」「SARUBARUSA」などスタッフへの応募が多く集まる業態を開発

### 今後の施策：社員寮の建設



- ・住所 : 名古屋市中村区
- ・総戸数 : 48 戸
- ・土地 : 181.61 坪
- ・総床面積 : 393.87 坪
- ・階数 : 6 階
- ・着工日 : 2017 年 6 月 15 日
- ・完成予定 : 2018 年 2 月 28 日

正社員の待遇向上のため、社員寮の建設を開始。  
今期末には完成し、来期の新入社員から入居が  
可能となり今期の新卒採用にプラス効果。

# 今後の新規出店予定



6月



6月7日オープン  
おざぶ（新業態）  
京都府京都市

6月



6月16日オープン  
SARUBARUSA（新業態）  
愛知県豊橋市

8月

8月21日オープン予定  
吟醸マグロの完成度を高めた新業態  
名古屋市中区

9月

9月オープン予定  
新業態（高単価業態）  
東京都中央区銀座

9月

9月オープン予定  
業態未定（リニューアル）  
愛知県豊田市

9月

9月オープン予定  
業態未定（リニューアル）  
愛知県刈谷市

11月

11月オープン予定  
豊田駅前の再開発ビルへ出店予定  
愛知県豊田市

11月

11月オープン予定  
名古屋の栄に新業態出店予定  
名古屋市中区

# 今期の業績見通し



(百万円)

	2017年2月期 通期実績	2018年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	14,357	15,000	104.5
営業利益	53	150	278.1
経常利益	61	130	211.7
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△83	50	—
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】  
株式会社ジェイグループホールディングス  
管理本部 IR担当  
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や  
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、  
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。